

## 佐伯創生まちなか芸術祭

開催日：平成30年10月6日(土)～11月25日(日)

開催場所：「歴史と文学の道」周辺



壁画屋さんの7's感性 (センス)



ユニバーサルデザインフェスタ



南海コレクションの里帰りと佐伯の画伯作品展



文豪ストレイドッグス×佐伯城下町独歩館



キヤノンのカメラ歴史展



野点でちよいと一服せんな!

## ●実施状況

「歴史と文学の道」を中心に「佐伯創生まちなか芸術祭」を開催しました。

「南海コレクション里帰りと佐伯の画伯作品展」ではピカソ、シャガールなど県立美術館所蔵の作品及び佐伯市に縁のある画家の作品を展示しました。「キヤノンのカメラ歴史展」では大分キヤノン株式会社のご協力で、キヤノン株式会社製の歴代カメラを展示するとともに最新機の操作性を体験していただくコーナーも設置しました。「毛利歴代藩主・正室の墓所公開」では佐伯藩初代藩主毛利高政の菩提寺である養賢寺のご協力で通常公開していない毛利墓所を公開し、養賢寺の本堂なども見学することができました。「文豪ストレイドッグス×城下町佐伯国木田独歩館スタンプラリー in 佐伯とProf.中島礼子による独歩のマジまんじ!？」では城下町佐伯国木田独歩館で独歩の描き下ろしイラストの展示等を行いました。また、中島礼子氏による独歩読書会を開催し、独歩の愛した佐伯について語りました。「野点でちよいと一服せんな!」では裏千家佐伯の皆様の野点と立命館アジア太平洋大学の学生による寸劇を楽しんでいただきました。「壁画屋さんの7's感性 (センス)」では多くの市民の協力によりジョーヤラ船の巨大壁画が完成しました。「ユニバーサルデザインフェスタ～

アートザウルス～」では市内の福祉事業所の皆様による歌・ダンス・太鼓演奏・即興演劇等が行われ長期間にわたる練習の成果を発表する感動のステージとなりました。ロビーではアート作品展示や手作り味噌、パンケーキ等の販売が行われ多くの来場者で賑わいました。

佐伯創生まちなか芸術祭を開催したことで、市内外の方に佐伯の歴史と魅力を感じていただくことができました。

## ●プログラム

- 1 南海コレクション里帰りと佐伯の画伯作品展
- 2 キヤノンのカメラ歴史展
- 3 毛利歴代藩主・正室の墓所公開
- 4 文豪ストレイドッグス×城下町佐伯国木田独歩館スタンプラリー in 佐伯とProf.中島 礼子による独歩のマジまんじ!?
- 5 野点でちよいと一服せんな!
- 6 壁画屋さんの7's感性 (センス)
- 7 ユニバーサルデザインフェスタ～アートザウルス～

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 佐伯市 佐伯市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭佐伯市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭佐伯市実行委員会

# 時空でつながる USUKism(ウスキズム)

開催日：平成30年10月6日(土)～11月25日(日)

開催場所：白杵市民会館、多福寺、白杵市歴史資料館、下藤キリシタン墓地



白杵市歴史資料館特別展「マレガ・プロジェクトと白杵」



コンテンポラリーダンス meets うすき水鏡



講演会「大友宗麟とキリシタン文化」



国指定史跡下藤キリシタン墓地特別公開

## ●実施状況

国宝白杵石仏に代表される仏教文化と、大友宗麟がキリスト教を庇護してのち、花開いたキリシタン文化。異なる二つの宗教と文化が千年の時を超え、栄えた町である白杵市では、「時空でつながる USUKism (ウスキズム)」をテーマに掲げ、人々の信仰心や新しい文化を受け入れた寛容な地域性、受け継がれてきた謙虚で柔軟な考え(イズム)を、文化祭を通じて市内外の方に知っていただくためのリーディング事業を実施しました。

白杵市歴史資料館特別展「マレガ・プロジェクトと白杵」では、バチカン図書館が所蔵する、マリオ・マレガ神父収集史料に関するプロジェクトの紹介や、関連する市所蔵の歴史資料の展示を行うとともに、マレガ史料に関する史料講座を実施しました。

11月3日には、白杵市を代表する秋の催しである「うすき竹宵」において、文化祭特別イベントとして、禅宗の寺院「多福寺」を舞台とした「コンテンポラリーダンス meets うすき水鏡(すいきょう)」を行いました。国民文化祭オープニングステージの総合演出を手掛けた穴井豪氏の演出・出演に加え、3名のプロダンサー、さらには地元の「平清水赤獅子連」も交え、伝統芸能と新たなジャンルのダンスが華やかに演じられました。

11月24日には、城郭考古学者で奈良大学教授の千田嘉博先生をお迎えし、講演会「大友宗麟とキリシタン文化」を実施しました。第一部では大友宗麟時代の白杵町と、江戸時代初期の白杵城の構造

についてお話があり、第二部のディスカッションでは、2名の高校生がステージに上がり、千田先生と質疑応答するとともに、会場から寄せられた質問に千田先生が分かりやすい解説で回答しました。

また、平成30年10月15日に国指定史跡となったばかりの下藤キリシタン墓地の特別公開を3回にわたって実施し、延べ160名の方にお越しいただきました。

## ●プログラム

白杵市歴史資料館特別展「マレガ・プロジェクトと白杵」

10月6日(土)～11月25日(日) 9:30～17:30

コンテンポラリーダンス meets うすき水鏡(すいきょう)

11月3日(土・祝) ①17:15～17:55 ②19:00～19:40

出演者 穴井 豪、金田 あゆ子、石神 ちあき、HEIDI、平清水赤獅子連

講演会「大友宗麟とキリシタン文化」

11月24日(土) 13:00～16:00

講演者：千田 義博(奈良大学教授)

国指定史跡下藤キリシタン墓地特別公開

11月3日(土・祝)、11月10日(土)、11月23日(金・祝)  
9:30～11:00

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 白杵市 白杵市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭白杵市実行委員会

## 地球の歴史と繋がる宇宙ロマン～津久見

開催日：平成30年10月20日(土)～28日(日)

開催場所：津久見市民会館、網代島ほか



合唱の祭典 in 津久見



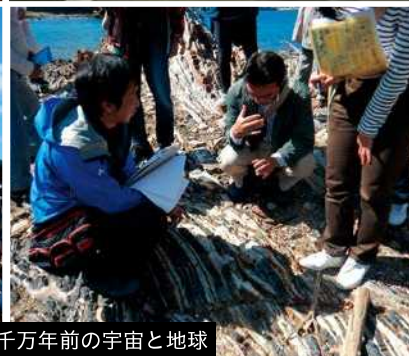
フレスコ画・アート作品展



津久見フレスコ画巡回展



網代島が語る 2億4千万年前の宇宙と地球



## ●実施状況

津久見市は日本有数の石灰石（漆喰）生産量を誇るとともに、市内の網代島には、約2億4千万年前の流れ星のかけらである「宇宙塵」が眠っています。今回は津久見市ならではの地球の歴史と宇宙のロマンを感じさせる4つの事業を実施しました。

「合唱の祭典 in 津久見」では、オープニングで津久見を代表する伝統芸能「津久見扇子踊り」が披露された後、全国公募による県外13団体、県内2団体が合唱を発表しました。また「いのち燃え立つ（はやぶさ1号に寄せて）」の作曲を手がけ、宇宙への憧憬を見事に表現した服部克久氏をゲストにお招きしての特別記念公演も開催されました。

「フレスコ画・アート作品展」では、津久見市の石灰石（漆喰）を活用した、市民によるフレスコ画の作品展を8日間にわたり開催しました。指導者を東京から招聘し、ボランティアの協力のもと、市内中学・高校の美術部の生徒や、津久見檜の実青少年少女合唱団、障がい者施設利用者の方などが、「宇宙」をテーマに共同制作したフレスコ画作品の展示を行いました。

市民による作品展と同時に開催した「津久見フレスコ画巡回展」では、フレスコ普及協会（東京）の協力により、日本各地で活躍するフレスコ画家の新作を含む作品30点を展示しました。

「網代島が語る2億4千万年前の宇宙と地球」では、熊本大学の尾上准教授を招聘し、宇宙塵が眠る網代島で、現地説明会やパネル展示を2日間にわたり行いました。網代島の宇宙塵は他に類を見ないほど保存状態が良く、太古の宇宙の様子を物語る大変貴重な本市の地質資源であるということで、参加された方々は、地球の歴史や網代島と宇宙の繋がりについて、大いに思いを馳せていたようでした。

## ●プログラム

10月20日(土)～21日(日)

網代島が語る2億4千万年前の宇宙と地球  
(網代島、旧日代中学校体育館)10月21日(日) 合唱の祭典 in 津久見  
(津久見市民会館)

10月21日(日)～28日(日)

フレスコ画・アート作品展、津久見フレスコ画巡回展  
(津久見市民会館)

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 津久見市 津久見市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭津久見市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭津久見市実行委員会(協力 大分県石灰工業会、フレスコ普及協会、津久見鉱山会・各社)

124

## 「合唱組曲豊後の國佐伯」復刻演奏会

開催日：平成30年11月4日(日)

開催場所：佐伯文化会館



## ●実施状況

平成29年、国木田独歩が佐伯に赴任していた時代を振り返った回想文「豊後の國佐伯」の一部に曲をつけた合唱組曲の楽譜が発見されました。平成30年は国木田独歩没後110周年の年であり、独歩を偲び「合唱組曲豊後の國佐伯」復刻演奏会を開催することになりました。

一般参加者101名と中学生130名の総勢231名の合唱団が結成され、毎月1回の練習会及びソリストとの合同練習会を経て本番を迎えることができました。

第一部では、独歩の愛した佐伯の四季の映像を上映し、国木田独歩の玄孫で俳優の中島歩氏が語りを、またテノール歌手の土崎譲氏に「秋の月（瀧廉太郎）」を、ソプラノ歌手の佐藤美枝子氏に「千の風になって（新井満）」をそれぞれ独唱していただきました。その後、中島歩氏と国木田独歩研究者で国土舘大学名誉教授の中島礼子氏がトークショーを行い、独歩がどれほど佐伯を愛していたかなど秘話を語りました。

第二部では、市民合唱団と佐藤美枝子氏他ソリストが「合唱組曲豊後の國佐伯」を合唱し、独歩が目にした佐伯市の情景を歌に乗せ会場の皆様に届けました。

ソリストのパートの美しい歌声に一般の合唱団及び中学生合唱団の歌声が重なり、洗練された中にも迫力のある合唱となりました。

中学生にとってプロのソリストや一般の合唱団とともに練習してきたこと、また本番で共演できたことは非常に貴重な体験となりました。

そして、今回の「合唱組曲豊後の國佐伯」復刻演奏会を開催できたことで、御来場の皆様にとっても国木田独歩が愛した佐伯を見直す大きなきっかけとなりました。また、これまで国木田独歩のことをよく知らないという市民の皆様にとっても国木田独歩を知る機会となりました。

## ●プログラム

- 第一部 語りと歌、映像で綴る「独歩が愛した佐伯」
- 第二部 「合唱組曲 豊後の國佐伯」復刻演奏会

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 佐伯市 佐伯市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭佐伯市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭佐伯市実行委員会 佐伯文化振興会

125

## 佐伯芸術文化祭

開催日：平成30年11月9日(金)～11日(日)

開催場所：佐伯文化会館ほか



## ●実施状況

佐伯文化振興会は、昭和46年に佐伯市の芸術文化推進のために活躍している各団体が結成し、文化の継承と想像に尽力し、郷土の人びとに文化鑑賞の機会を提供するとともに、郷土の文化の振興に寄与することを目的に、47年間活動を続けてきました。現在、三曲、吟詠、器楽、日舞、民踊、新舞踊、洋舞、美術、書道、写真、短歌、川柳、華道、茶道の14部会29の団体が加入しています。これら団体で11月9日～11日の3日間、「佐伯芸術文化祭」を開催し、それぞれの社中において洗練された美と技を披露し来場者を魅了しました。まず11月9日から三余館において「佐伯市秀作美術展」を開催し、書道・写真・絵画の展示会を開催しました。迫力のある作品や細部まできめ細かく描かれた作品などが並び御来場の皆様の目を楽しませてくれました。次に11月10日から佐伯文化会館中ホールにおいて「佐伯合同生花展」を開催しました。色鮮やかで華やかな作品や控えめな色合いの中にも凛とした雰囲気醸し出す作品などが並び、花の美しさの高見を表現しました。11月11日には佐伯芸術文化祭のステージ発表とあわせ、大ホールロビーにおいて茶道表千家によるお茶会を行いました。

今年は国民文化祭バージョンとしてプログラムの中に「特別記念番組 吟と舞」を新たに加え、佐伯市外から幼少年剣舞の皆様にも特別出演してもらいました。小学生の勇壮な剣舞は会場を大いに盛り上げてくれました。御来場の皆様からは「一流の芸術の琴線に触れ、感動して涙が出ました」などの感想をいただきました。今回「特別記念番組 吟と舞」を加えたことで新たな芸術文化交流が図られたこと、さらに来場者が劇的に増えたことは大きな成果となり今後の励みとなりました。

## ●プログラム

- 11月9日(金)～11日(日) 三余館  
佐伯市秀作美術展
- 11月10日(土)～11日(日) 佐伯文化会館中ホール  
佐伯合同生花展
- 11月11日(日) 佐伯文化会館ロビー・汲心亭  
お茶会(表千家)

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 佐伯市 佐伯市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭佐伯市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭佐伯市実行委員会 佐伯文化振興会

126

## 吹奏楽体験ウィーク in 佐伯

開催日：平成30年11月14日(水)～18日(日)

開催場所：佐伯文化会館ほか



## ●実施状況

「佐伯市内の皆さんに音楽のもつ聴く楽しみと演奏する楽しみを実感してもらいたい、また全国各地の吹奏楽愛好家が集まって演奏し、さらに佐伯の食も堪能する期間としたい」という思いから、佐伯市民吹奏楽団のメンバーが中心となり「吹奏楽体験ウィーク in 佐伯」を開催しました。

期間中、Black Bottom Brass Band (BBBB) さんによる佐伯市内出張コンサート、吹奏楽体験や佐伯市内吹奏楽部の吹奏楽レベルアップ体験を行いました。吹奏楽を聴く体験（アウトリーチ活動）では、14日に佐伯市役所一階でオープニング演奏会を行い、その後、佐伯市立宇目緑豊中学校、長門記念病院において出張コンサートを行いました。レベルアップ体験（吹奏楽部訪問）では、大分県立佐伯豊南高等学校、佐伯市立佐伯南中学校、佐伯市立鶴谷中学校の吹奏楽部を訪問し直接指導を行いました。BBBBさんから「とにかく力を抜いて楽しむこと!」とアドバイスをいただき、部員の皆さんは新たな吹奏楽の楽しみ方を学びました。演奏会前日には、学生と市内外からの吹奏楽愛好家を対象に体験型講習会（学生ワークショップ）を行い、音楽の楽しさをストレートに感じる体験をしてもらいました。前夜祭では「佐伯市の

美味しいもの大集合!大懇親会」を開催し、BBBBのメンバーさんと市内外からの参加者とで佐伯の寿司やごまだしうどん等様々な佐伯の食を堪能するとともに、演奏で学ぶセッションも行いました。

そして最終日に、練習成果発表コンサートを開催しました。ステージで楽しく演奏される曲に合わせて、会場の皆さんも自然に手拍子や体を動かしてリズムをとる様子がうかがえました。「吹奏楽体験ウィーク in 佐伯」を開催したことにより、参加された多くの人にとって音楽の素晴らしさや楽しみ方を体験してもらう良い機会となりました。

## ●プログラム

- 第一部 佐伯市中学校・高校・一般合同吹奏楽団コンサート
- 第二部 Black Bottom Brass Band スペシャルライブ
- 第三部 ワークショップ参加者による練習成果発表コンサート

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 佐伯市 佐伯市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭佐伯市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭佐伯市実行委員会 大分県吹奏楽連盟 県南吹奏楽連絡会

127

## 佐伯 大自然 大茶会 ～お茶ガールズ～

開催日：平成30年11月18日(日)

開催場所：正定寺(佐伯市直川)



## ●実施状況

「佐伯 大自然 大茶会 ～お茶ガールズ～」は、文化や風情を感じられる場所で野点を開催し、茶道を通じた芸術文化の地域間交流や地域の活性化を図りたいという思いから、大分大茶湯実行委員会が企画し、直川の正定寺で開催しました。今回の野点では、高校茶道部と茶道裏千家淡交会青年部の皆様を中心に御来場の皆様へのおもてなしの心で作られるお茶席を御用意しました。会場には野点でお茶をいただくだけでなく、自分でお茶をたてる「お茶たて体験コーナー」を設け、高校茶道部の皆様の指導によるお作法を体験していただきました。また「着物レンタルコーナー」を設け、風情あるお寺の境内を着物で散策し非日常を楽しんでいただきました。「書道ワークショップコーナー」では高校書道部の皆様による工作ワークショップを行い、御家族でお越しの皆様にも楽しんでいただきました。

ステージイベントでは、境内に設けられたステージにおいて、地元の子どもたちによる地域伝統文化の太鼓や唄げんかが披露され会場を賑わしてくれました。さらに県内4校の高校書道部の皆様による書道パフォーマンスを行いました。息の合った躍動感ある動きや筆づかいに会場には大きな拍手が鳴り響きました。

プログラムの最後には、墨絵師の西元祐貴氏による墨絵ライブパフォーマンスが行われました。来場者は、西元祐貴氏の流れるような筆さばきによる圧巻のライブパフォーマンスと、瞬間に描かれた作品に魅了されました。

今回の「佐伯 大自然 大茶会 ～お茶ガールズ～」では、佐伯の中心部から離れた大自然の中で風情を感じながら、茶道や書道などの文化芸術を楽しんでいただくことができました。また、お茶席やステージイベントを実施した高校生にとっては、自分たちで一般のお客様をおもてなしする貴重な経験を積む機会となりました。

## ●プログラム

- 1 こども演舞
- 2 高校生書道パフォーマンス
- 3 墨絵師・西元 祐貴さんパフォーマンス  
・体験コーナー
- 4 お茶たて体験、着物レンタル、書道ワークショップ

## ●主催者

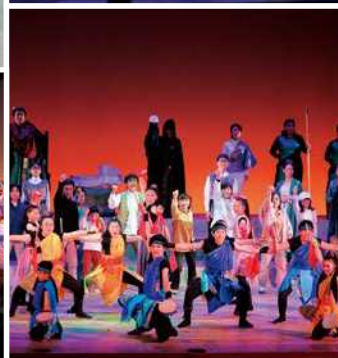
文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 佐伯市 佐伯市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭佐伯市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭佐伯市実行委員会 大分大茶湯実行委員会

128

# 佐伯市民ミュージカル 「タカラとワカ海を越える軌跡」

開催日：平成30年11月24日(土)

開催場所：佐伯文化会館



## ●実施状況

この事業は、ミュージカルの舞台を創る過程を通じて「芸術表現を通じたコミュニケーション教育の推進」、「地域と創る官民協同型佐伯市表現教育事業の推進」を図ることを目的として実施しました。

今回の佐伯市民ミュージカルは、平成26年度に結成した「佐伯市子どもミュージカル」に、新たな公募による一般市民の大人や沖縄県からの招聘者、プロの音楽家や役者も参加し、総勢180名を超える演者で舞台を創りました。

発会式では「メンバー全員がクルーであり、誰一人欠けることなく本番を迎えること」「障がいがあってもなくても楽しめる市民ミュージカルをつくること」を皆で誓い、通常練習に加えて合宿や様々な会場で開催されるイベントに特別出演するなど、本番までに40回以上の練習会を重ねてきました。練習会は子どもと大人、障がいがある方とない方、様々な方が触れ合う場となり、回を重ねるたびにお互いを尊重するコミュニケーション力が醸成されていきました。

舞台を創るには、受付や会場設営等含め、様々な方の協力が必要不可欠でした。特に舞台裏の衣装やヘアメイク等専門的な部門については、地域

のプロの方々のサポートをいただき、お陰で華やかな舞台を演出することができました。

本番では、出演者全員が自信を持って役を演じました。観客席の周りを取り囲んだ演出によりホール内全体が大きな舞台となり、観客との一体感が生まれました。特に沖縄県からの招聘演者の中高生とのセッションはとても感動的なものとなりました。

出演者の演技に魅せられ、終演後に多くの方から「感動しました」「素晴らしかったです」といった感想をいただきました。

国民文化祭を機に開催した市民ミュージカルは、地域の人とつくる、子どもと大人が共に育ちあう舞台となりました。

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 佐伯市 佐伯市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭佐伯市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭佐伯市実行委員会 佐伯市子どもミュージカル実行委員会



129

## うすきまちなかアート！

開催日：平成30年10月6日(土)～11月25日(日)

開催場所：「八町大路」白杵市中央通り商店街、サーラ・デ・うすき、白杵市観光交流プラザ、稲葉家下屋敷



## ●実施状況

アートを通して、障がいの有無にとらわれない「共に生きる」地域社会を目指し、白杵市内の協力店舗や公共施設で18人の障がいのある作家の作品展示を行いました。アート作品が街中に飾られ、作品に触れる良い機会となりました。また、期間中に行われた「第9回福祉と教育を考えるフォーラムinうすき×まちなかアート!」では、基調講演やワークショップなどを行い、ワークショップでは46人の方に参加していただきました。

さらに、先進地でもある前回開催県の奈良県での取り組みを学び、グッドジョブ製品に触れることで、商品化や作品の二次利用についての取り組みを進めていく一歩となりました。

## ●プログラム

《うすきまちなかアート!展示場所・期間》

- ・八町大路、サーラ・デ・うすき  
10月6日(土)～11月25日(日)
- ・白杵市観光交流プラザ 2階ギャラリー  
10月10日(水)～10月24日(水)
- ・白杵市観光交流プラザ 1階交流スペース  
11月10日(土)～11月25日(日)

## ・稲葉家下屋敷

10月6日(土)～11月18日(日)

- 《第9回福祉と教育を考えるフォーラムinうすき×まちなかアート!》(10月14日(日))
- ・基調講演「光のあて方」 陶器・ガラス工房 ラパロマ代表 中野 伸哉
- ・ワークショップ「妖怪ブローチをつくろう!」 Good Job!センター香芝 (奈良県)
- ・ワークショップ「粘土であそぼう」 陶器・ガラス工房ラパロマ 陶器造形作家 中野マーク周作
- ・トークイベント「Good Job!センター香芝 (奈良県)の紹介と昨年開催の奈良大会(2017)を振り返って」 Good Job!センター香芝 平松 克啓、(一財)たんぼぼの家 大井 卓也
- ・ステージイベント ハロウィーン仮装コンテスト、ショートムービー上映(視覚障がい者による野球動画)、車いすダンスショー(恵の聖母の家)、演奏会(スタジオさくらの仲間たち)
- ・障がい者アート作品の展示、販売など

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 白杵市 白杵市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭白杵市実行委員会 「元気のでるアート!」実行委員会

130

## わくわくドキドキくらしっく!? in う♡ (すき)

開催日：平成30年10月13日(土)

開催場所：白杵市民会館



## ●実施状況

小さな子どもたちから大人までクラシックを幅広く楽しんでいただくことを目的に「室内楽大分～grand～」によるファミリーコンサート「わくわくドキドキくらしっく!? in う♡ (すき)」を行いました。このコンサートでは、大分県内の美しい風景や珍しい動物の生態を映した映像をステージの背景として映し出すという、ユニークな演出が行われました。第一部では、誰もが一度は聞いたことのあるクラシック音楽や作曲家河野敦朗氏が大分の自然をテーマに作曲した大分のための音楽、そして大分出身の若手バイオリニスト倉田りのさんの美しいバイオリンと弦楽合奏の共演が行われました。

後半の第二部では、動物をテーマに親子で楽しめる音楽を演奏していただくとともに、アフリカンサファリ獣医師神田岳委先生による音楽に出てくる動物の興味深い解説も行われました。演奏やお話しに耳を傾けながら、保育園児から大人までとても心地良いひと時を過ごすことができました。地元出身の演奏家が参加していることもあり、来場者は白杵市内で行われたクラシックコンサートとしては異例の450名に達し、アンコールでは白杵市出身の作曲家吉丸一昌の「早春賦」を観客も一緒に合唱し、会場全体が大いに盛り上がりました。

## ●プログラム

- ・指揮者 新見 準平 ・ナレーション 神田 岳委
  - ・ヴァイオリン 倉田 りの
  - ・演奏 室内楽おいた～ grand ～
- 第一部 弦の音色を味わおう！
- 「大分の風景」より「山海」河野 敦郎作曲
  - 「四季」より「春」ヴィヴァルディ作曲
  - ヴァイオリン独奏 倉田 りの
  - 「ホルベルク組曲」より第1楽章 グリーグ作曲
- 第二部 目と耳で楽しもう！
- 「動物の謝肉祭」サンサーンス作曲 ナレーション 神田 岳委 (アフリカンサファリ獣医師)
  - 第1曲 序章とライオンの行進 第2曲 めんどりとおんどり 第3曲 ロバ 第4曲 亀 第5曲 象 第6曲 カンガルー 第7曲 水族館 第8曲 耳の長い登場人物 第9曲 森の奥のかっこう 第10曲 小鳥 第11曲 ピアニスト 第12曲 化石 第13曲 白鳥 第14曲 終曲

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 白杵市 白杵市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭白杵市実行委員会 室内楽おいた～ grand ～

131

## フラメンコフェスティバル in USUQUI

開催日：平成30年11月11日(日)

開催場所：白杵市民会館



## ●実施状況

南蛮文化が栄えた白杵市で、スペインの伝統芸能であるフラメンコに焦点をあてたイベントを実施しました。「フラメンコフェスティバル」と題し、県内外のアマチュアや愛好者に加え、プロのダンサーを呼んでの大規模ステージとなりました。

このイベントは大分市でフラメンコの普及を積極的に行っている後藤マリフラメンコスタジオが中心となって実施したもので、白杵市民会館でこれほど大きなフラメンコ大会は初の開催となりました。プロのダンサーや演奏者には、日本在住のスペイン人もおり、本場のフラメンコを来場者の方に堪能いただけました。

早い人は1時間前から並んでおり、開場前には多くの方が列を作って待っていました。

内容は一部、二部に分かれており、第一部では県内外の愛好者によるフラメンコ、第二部ではプロのダンサーによる迫力あるステージが披露されました。

フィナーレには出場者全員によるフラメンコパフォーマンスがあり、会場一体となって情熱的なフラメンコのリズムを楽しみました。

## ●プログラム

## 第一部

- 1 ラス・ガジーナス（玖珠町）2曲
- 2 プラデーラ（長崎）3曲
- 3 Las ninas de Fukuoka（福岡）1曲
- 4 La Alegria（佐賀）3曲

## 第二部

- 1 ファンダンゴ・デ・ウエルバ
- 2 シギリージャ
- 3 アレグリアス
- 4 ソレア
- 5 タラント
- 6 マイウエイ
- 7 ギター & カンテ
- 8 ソレア・ボル・プレリア

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 白杵市 白杵市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭白杵市実行委員会 後藤マリフラメンコスタジオ

132

## 大分囲碁祭り

開催日：平成30年11月23日(金・祝)～11月25日(日)

開催場所：サーラ・デ・うすぎ、白杵市観光交流プラザ、稲葉家下屋敷



## ●実施状況

「大分囲碁祭り」は、江戸時代、武士のたしなみで庶民にも浸透した囲碁を、城下町の歴史を踏まえつつ、新しい文化を根付かせることを目的に、関西棋院や日本棋院の方々の協力のもと白杵市の「サーラ・デ・うすぎ」で開催しました。

大会の花である「プロアマオープン戦」では、8名のプロ棋士と全国から選ばれた7名のアマチュア棋士、さらに外国招待のプロ棋士によるトーナメント戦を稲葉家下屋敷で開催しました。1回戦はプロ対アマで組まれ、最終日の決勝ではプロ対プロの白熱した戦いが披露されました。また大会会場の近隣にある白杵市観光交流プラザでは大盤解説が実施され、一般市民の皆さんも興味深く見入っていました。

「クラス別アマチュア大会」では県内から101名、県外から30名の参加があり、24日はクラス別大会、25日は子ども囲碁大会を開催しました。いずれのクラスでも日頃の研鑽の成果を実践で試す格好の機会となりました。

「第2回世界ハンディキャップIGO選手権」は、全国障害者芸術・文化祭事業として位置付けられ、国内選手8名、海外招待選手8名によるトーナメント方式の大会が実施されました。重度の視覚障がいを持っているにもかかわらず、健常者と変わらない囲碁の対局が繰り広げられ、障がい者の自立に向けての理解が深まるとともに、囲碁を通じた国際交流の一助にもなりました。

本大会の冒頭には、白杵市出身の唯一の囲碁棋士

である尾越九段や、関西棋院のプロ棋士、地元アマチュア、海外棋院代表によるシンポジウムも開催され、大いに盛り上がりました。

## ●プログラム

- 11月23日(金・祝)～25日(日) 第2回世界ハンディキャップIGO選手権(会場：サーラ・デ・うすぎ)
- 24日(土)～25日(日) プロアマオープン戦(会場：稲葉家下屋敷)
- 24日(土) クラス別アマチュア大会・シンポジウム(会場：白杵市観光交流プラザ)
- 25日(日) 子ども囲碁大会(会場：白杵市観光交流プラザ)

## ●表彰

- 第2回世界ハンディキャップIGO選手権
  - 優勝：文部科学大臣表彰 準優勝：大分県知事賞
  - プロアマオープン戦
    - 優勝：大分県知事賞
  - クラブ別アマチュア大会、子ども囲碁大会
    - 優勝：白杵市長賞 準優勝：白杵市長賞
    - 第3位：白杵市長賞

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 白杵市 白杵市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭白杵市実行委員会 ㈱まちづくり白杵

133

## 津久見モイカフェスタ

開催日：平成30年10月15日(月)～11月25日(日)(津久見の食文化体験交流会 11月19日(月)・20日(火))

開催場所：市内各店舗、市民ふれあい交流センター



## ●実施状況

津久見市で毎年開催される「津久見モイカフェスタ」は、イカの王様とも呼ばれるモイカ（アオリイカ）を、旬な時期に市内の飲食店で提供する、スタンプラリー形式の食観光キャンペーンです。

今回、通常キャンペーンとは別に、国民文化祭特別企画として、人数限定（2日間、各25名）で参加者を公募し、津久見市を代表するモイカ料理などを試食いただくとともに、津久見市の食文化について参加者による意見交流会などを行い、食文化の情報発信をする「津久見の食文化体験交流会」を実施しました。

また、会場近くの津久見漁協の生け簀では、漁協職員によるモイカをはじめとした地魚の説明や見学を行いました。

交流会では、県内でも珍しいモイカフェスタの仕組みや近年の本市の食文化について、市内外の参加者から好評価をいただきました。また、ひゅうが丼やバッテリー漁の由来や保戸島のマグロはえ縄漁についての質問などもあり、多くの方に津久見の食文化を知っていただく良い機会となりました。

## ●プログラム

【11月19日(月)～20日(火) 食文化体験交流会】

- 1 現地視察  
津久見漁協でモイカや地魚の生け簀見学（20日は、月に一度のヨコヅーナ（養殖マグロ）の水揚げも見学）
- 2 津久見の食文化と観光PR  
津久見市観光協会事務局長の説明により、モイカフェスタの取組みや保戸島・河津桜・イルカ島など本市の一体的なPRを実施
- 3 試食  
津久見を代表するモイカ・ひゅうが丼・クロメ汁などを提供
- 4 意見交換

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 津久見市 津久見市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭津久見市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭津久見市実行委員会 津久見市観光協会

134

## 津久見市ふるさと振興祭

開催日：平成30年10月27日(土)・28日(日)

開催場所：つくみん公園



出会の場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

## ●実施状況

津久見市の郷土芸能の披露・継承や、海の幸・山の幸などの特産品を広く情報発信することを目的に、10月27日から28日の2日間にわたり「津久見市ふるさと振興祭」を開催しました。

今回は「第33回日豊経済圏交流大会」及び「第2回日豊グルメフェスティバル」、また、県内の4社中が揃う「伝統芸能in津久見」も同時開催され、多くの来場者で賑わいました。

国民文化祭特別企画として、東京から講師を招聘し、両日ともに25名限定で「フレスコ画づくり体験コーナー」を会場内ブースで実施しました。

ボランティアの協力のもと、市内外の方がフレスコ画制作に取り組み、本市の基幹産業である石灰石を活用した芸術・文化をPRしました。

また、講師指導のもと、市内の中学・高校の美術部の生徒や、津久見樫の実少年少女合唱団、障がい者施設利用者の方などが「宇宙」をテーマに共同制作したフレスコ画の作品を会場内ブースに展示し、津久見市の芸術・文化を広く情報発信しました。

## ●プログラム

- 1 フレスコ画づくり体験コーナー（参加無料）  
東京から講師を招聘し、ボランティア協力のもと、両日ともに先着25名限定でフレスコ画づくり体験コーナーを開催
- 2 フレスコ画・アート作品展  
会場内ブースに「宇宙」をテーマとした市内の中学・高校の美術部、津久見樫の実少年少女合唱団、障がい者施設利用者の方などが共同制作したフレスコ画を展示

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 津久見市 津久見市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭津久見市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭津久見市実行委員会 第36回津久見市ふるさと振興祭実行委員会